

平成29年度 KPI評価シート

基本目標	1 魅力ある安定した雇用が生まれるまちづくり																
目的	<p>「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、まず、「しごと」づくりが第一です。転入超過の状況を維持するには、新しい人の流れを彦根市に呼び込み、若い世代の結婚から子育てまでの希望をかなえ、彦根市に住み、住み続けるための前提として、「しごと」の確保は欠かせません。</p> <p>そのため、産業振興や競争力の強化などに、官民が連携して取り組むことで、安定した雇用や魅力ある雇用を創出し、多様な雇用機会の確保に努めていきます。</p> <p>また、就労に結びつく「ひとを育てる支援」や、官民の連携による新卒者等の地元就労を促す「しごととひとを結びつける支援」を促進することによって、彦根市で就労できる環境や企業が人材を確保しやすい環境を整えていきます。</p> <p>さらに、文化・歴史資産、農林水産物などの地域資源を活かし、裾野が広く多くの業種の雇用に影響を持つ観光産業を活性化させることで、宿泊や飲食、買い物、各種サービス業等の消費の拡大を図り、新たな雇用の創出に努めていきます。</p>																
数値目標	指標	基準値	目標値 (平成31年度)														
	有効求人倍率 (彦根管内)	1.23倍 (平成26年度)	1.37倍														
関係所属	シティプロモーション推進課	国体準備室	子育て支援課	幼児課	介護福祉課	障害福祉課	農林水産課	地域経済振興課	観光企画課	都市計画課	市立病院事務局	保健体育課	新市民体育センター整備推進室	文化財課	彦根城世界遺産登録推進課		
各施策とその方向性	施策名		KPI指標名			KPI基準値(26年度)	KPI目標値(31年度)	方向性									
	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内)		1.23			1.37		彦根市の地場産業である彦根仏壇・バルブ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行っていきます。								
		工業製品等出荷額(億円)		5,757			5,879										
		工場等設置奨励措置件数(件)		61			66										
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出	起業者数(人)		—			95		地域に新たなビジネスや雇用を創出し、地域を活性化させるため、官民連携のもと、起業や第二創業等による新たな分野への進出に係る人材育成や企業育成等について支援を行っていきます。								
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇産地生産額(百万円)		2,900			2,974		彦根市の地場産業である彦根仏壇・バルブ・ファンデーションの活性化を図るため、「彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画」に基づき、関係機関の連携のもと、人材の確保・育成、営業戦略、販路拡大、技術商品開発等によるブランド強化、国際化(海外展開)等について、各産業の特性に合わせた取組を展開するとともに、必要な支援を行っていきます。								
		彦根バルブ産地生産額(百万円)		22,789			23,276										
		彦根ファンデーション産地生産額(百万円)		2,900			2,974										
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	認定新規就農者数(人)		5			10		6次産業化による生産・加工・流通の一体化や農商工連携を図り、彦根梨、アスパラガスなど重点的に活用を図るべき地域の農産物を活かし、付加価値が高く、かつ、消費者ニーズに応じた新たな加工品の開発を支援するとともに、先駆的な取組を行う農業者の育成を図っていきます。								
		6次産業化に取り組む事業者数		2			7										
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人)		7			20		福祉・介護・医療職場等、求人と求職のミスマッチが生じている職場については、人材を確保するため、説明会等の開催や必要な資格取得に対する支援を行うとともに、離職率の高い職種については、研修会の開催や待遇改善を働きかけるなど、必要な人材の確保・定着への支援を行っていきます。								
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人)		5			7										
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人)		3,007,000			3,650,000		① 「21世紀型城下町・彦根の創造」による観光地域づくり 20世紀型観光からの脱却を図るため、国宝彦根城をはじめとする文化財や彦根城博物館を、市民をはじめとする多様な主体が文化活動等を展開できる文化的空間として活用し、磨きあげることで、ブランド力の向上を図り、まちなみ景観、文化財、食、伝統産業、文化・芸能等を取り込んだ魅力的な城下町「21世紀型城下町・彦根」を創造していきます。 さらには、効果的な誘客促進により、地域活性化を図るため、広域観光の促進に努めていきます。これにより、交流人口の増加と観光消費が及ぼす経済波及効果を創出し、地域経済の持続的な活性化を図っていきます。								
		観光消費額(億円)		141			200										
		市内宿泊者数(人)		312,200			367,000										
		外国人観光客数(人)		40,416			100,000		② インバウンド誘致の推進 外国人観光客が増加しており、今後についても伸びが期待されることから、ターゲットを意識した戦略的な情報発信を行うとともに、受入れ体制の充実を図るなど、インバウンド誘致を推進していきます。								
		外国人観光客市内宿泊者数(人)		7,093			70,000										
		歴史的風致維持向上施設の整備件数(件)		14			19		③ まちなみ・歴史・文化資産の適正な保全と利活用 世界遺産暫定リストに登録されている彦根城とその関連資産の世界遺産登録に向けた取組を推進していきます。また、城下町等の歴史的なまちなみの保全とともに、歴史・文化資産の利活用を図っていきます。								
本市スポーツイベントへの参加人数(人)		27,877			28,200		④ 国民体育大会を契機としたスポーツ振興による地域活性化 平成36年(2024年)に滋賀県で開催が予定されている国民体育大会主会場が滋賀県立彦根総合運動場に決定されたことから、国体開催を契機に生涯スポーツをより一層楽しめる環境づくりを進めていきます。 また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや、ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に伴うムーブメントが地方へも波及することを踏まえて、多様な交流やスポーツに親しめるにぎわいに満ちたまちづくりをめざしていきます。										

平成29年度 KPI評価シート

	施策名	KPI指標名	平成29年度KPI値結果	平成29年度KPI目標値	評価	課題	課題解決に向け、平成31年度に実施すべき取組
平成29年度の評価と課題	(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備	有効求人倍率(彦根管内) 【地域経済振興課】	1.98	1.35	○	(内部) 彦根管内では、近年、非常に高い求人倍率で推移しています。当初、求職者の就職環境の整備が課題と想定していましたが、企業の人手不足への対応へと変わってきています。 (外部) ・人手不足が非常に大きな課題と思われます。 ・人手不足が原因となり、企業の進出が滞る可能性があります。とされます。 ・中小企業の就業環境を改善する必要があると思われます。 ・優良な企業が多い反面、企業のことをよく知らない求職者が多いと思われます。	(内部) 首都圏などの第二新卒の世代や、UIターン就職希望者をターゲットとして、彦根地区の企業を売り出し、地域雇用の安定に資する取り組みを検討していきます。 (外部) ・長期的な視点で生産性を向上させ、労働力の流動性を高める取組が必要ではないでしょうか。 ・求職者に対し、企業をPRしていく必要があるのではないのでしょうか。 ・企業のPRの方法や補助金等の支援についても、検討していく必要があるのではないのでしょうか。 ・説明会等の告知の方法についても、より有効に実施できるよう、検討してはどうでしょうか。 ・大都市圏へ出向いて就職説明会をすることなども検討してはどうでしょうか。
		工業製品等出荷額(億円) 【地域経済振興課】	7,150	5,830	○	(内部) 現状の高水準の確保が課題です。 (外部) ・中小企業の就業環境を改善する必要があると思われます。	(内部) 現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図っていきます。 (外部) ・求職者に対し、企業をPRしていく必要があるのではないのでしょうか。
		工場等設置奨励措置件数(件)【累計】 【地域経済振興課】	79	64	○	(内部) 現状の高水準の確保が課題です。 (外部) ・人手不足が原因となり、企業の進出が滞る可能性があります。とされます。	(内部) 現企業立地促進制度の周知に努め、各種企業誘致施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図っていきます。 (外部) ・長期的な視点で生産性を向上させ、労働力の流動性を高める取組が必要ではないでしょうか。 ・補助金等により機械化を進め、生産性の向上を図ることを検討してはどうでしょうか。
	(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出【基本目標3にも掲載】	起業者数(人)【累計】 【地域経済振興課】	54	57	×	(内部) 起業を具体的に考えている層だけではなく、明確に意識していない層への周知や働きかけが必要です。 (外部)	(内部) 各支援機関と連携を密にして、制度の浸透を図るための方策を検討していきます。 (外部) ・支援機関が連携し、大学が多く、若者が多いという立地を活かして、起業家に手厚いまちだということを打ち出していく必要があるのではないのでしょうか。
	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根仏壇産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	2,550	2,937	×	(内部) 人口減少やライフスタイルの変化、経済的な要因等による需要の減少が課題となっています。 (外部)	(内部) 彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「仏壇の技術を活かした新商品の開発」、「海外市場の調査」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。 (外部) ・仏壇の技術を活かしたインテリア商品等の新商品の開発を支援する必要があるのではないのでしょうか。 ・仏壇の技術を活かした新商品の開発に、学生にも関わってもらい、いろんなアイデアを出してもらえばどうでしょうか。
		彦根バルブ産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	24,924	23,080	○	(内部) 公共事業の状況や造船需要等による需要の変動が課題となっています。 (外部) ・人手不足が非常に大きな課題と思われます。	(内部) 彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「従業員の定着・地元雇用」、「ピワライトの国内販路拡大」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。 (外部) ・補助金等により機械化を進め、生産性の向上を図ることを検討してはどうでしょうか。

平成29年度 KPI評価シート

平成29年度の評価と課題	(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化	彦根ファンデーション産地生産額(百万円) 【地域経済振興課】	2,900	2,937	×	(内部) OEM中心の業界であり、発注価格の低迷や発注の海外シフトなど社会・経済的要因による生産量や需要の減少が課題となっています。 (外部) ・人手不足が非常に大きな課題と思われます。	(内部) 彦根市地場産業活性化基本方針および行動計画に規定する「企業連携による販路拡大戦略の策定」や「各種支援策を活用した新商品の開発」等の取組に対する支援を確実に実施していきます。 (外部) ・補助金等により機械化を進め、生産性の向上を図ることを検討してはどうか。
	(4) 6次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化	認定新規就農者数(人)【累計】 【農林水産課】	5	7	×	(内部) 平成29年度においては、市が認定する新規就農者は無しです。 (外部) ・農業でしっかりと収益を得られる体制づくりが課題と思われます。	(内部) 新規就農者の確保を図るため、本市の特徴ある農業者を若者等にPRしていきます。 (外部) ・JA、観光産業、マスコミ、金融機関、商工会議所等で連携した取組を検討してはどうか。また、そうした連携が進むような場を作ってはどうか。
		6次産業化に取り組む事業者数【累計】 【農林水産課】	3	5	×	(内部) 平成29年度においては、6次産業化に関する総合化事業計画の承認を国から得た事業者は無しです。 (外部) ・農業でしっかりと収益を得られる体制づくりが課題と思われます。	(内部) 園芸栽培や6次産業化の取組を底上げするために、特産品の創出を図っていきます。 (外部) ・JA、観光産業、マスコミ、金融機関、商工会議所等で連携した取組を検討してはどうか。また、そうした連携が進むような場を作ってはどうか。
	(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援	福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数(人) 【介護福祉課】	15	15	○	(内部) 説明会への参加者が少なく、参加者数の増加が課題です。また、参加事業所の取組意欲に差があり、全体的に意欲の向上を図る必要があります。 (外部)	(内部) 来場者数を伸ばすため周知方法、開催内容の見直しを図るとともに、説明会を活用して人材確保を推進しようとする参加事業所の取組姿勢の改善を求めていきます。 (外部) ・施設見学会つき説明会や面接会の開催を検討してはどうか。
		ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数(人) 【子育て支援課】	15	6	○	(内部) 研修や講座を最後まで修了できない、また修了するが得られた資格を活かした就労に結びつかないことがあります。 (外部)	(内部) 助成対象者に対し、受講中から資格取得後の求職活動までのフォローと、就職後のアフターフォローまでを計画的に行っていきます。 (外部)
	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	観光入込客数(人) 【観光企画課】	3,417,600	3,400,000	○	(内部) 国宝・彦根城築城410年祭や大河ドラマの影響もあり、観光客数実人数は前年度に比べ増加しましたが、一人あたりの訪問地点数の増加は見られず、観光入込客数としては伸び悩んでいます。このことから、一人当たりの訪問地点の増加策が必要です。 (外部)	(内部) 彦根城だけではなく、その周辺等への誘客を図るなどし、より長く滞在していただける施策が必要です。このため、平成30年度は「ひこにゃん」を四番町スクエアにも登場させる変更や京橋口駐車場にレンタサイクル拠点を新設するなどして、引き続き市内周遊を促進させる取組を実施していきます。 (外部) ・彦根城周辺だけでなく琵琶湖岸も含めた広い地域でサイクリングルートをPRするなどしてはどうか。
		観光消費額(億円) 【観光企画課】	197	180	○	(内部) 日帰り客の観光消費額が大幅に増加したことにより、目標値を超える結果となりましたが、一過性のものとならないようさらなる増加策が必要です。 (外部)	(内部) 宿泊客を宿泊させるだけではなく、飲食・土産購入・体験サービスなどの機会を充実させるとともに、経済波及効果を高めるため、観光コンテンツの開発やPRの充実に取り組んでいきます。 (外部) ・様々な形の宿泊観光のプランニングをするなど、夜間の観光誘客を強化してはどうか。

平成29年度 KPI評価シート

平成29年度の評価と課題	(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化	市内宿泊者数(人) 【観光企画課】	413,400	340,000	○	(内部) 市内宿泊者数は目標値を超えています。観光地の活性化には、宿泊者数の全体的な底上げを図る必要があります。	(内部) 宿泊を促すためには、滞在いただける仕組みや魅力が必要です。彦根城のライトアップ等の夜間における取組を充実させるとともに、宿泊施設ごとの魅力づくりと連携した取組を検討していきます。
						(外部)	(外部) ・町屋等の活用も含めた、民泊の推進について、検討してはどうでしょうか。
		外国人観光客数(人) 【観光企画課】	77,984	90,000	×	(内部) 外国人観光客数は、宿泊費の高騰などにより、大都市圏から近隣地方への宿泊へと移行してきたが、都市圏での宿泊施設の供給が追いついてきたこともあり、地方は減少に転じています。この傾向は県下同様であることから、広域での外国人観光客の誘客が必要です。	(内部) 広域の連携組織である「公益社団法人びわこビジターズビューロー、びわ湖・近江路観光圏」などでの更なる誘客促進を図るとともに、外国人観光客に彦根を主要な観光地として訪問いただけるよう受入環境の整備や多様な媒体による魅力の発信に取り組んでいきます。
						(外部)	(外部) ・京阪神から金沢へ向かう途中という立地を活かして、彦根で降りてもらえるような動機になるような体験・アクティビティ等の取組を検討してはどうでしょうか。 ・外国人観光客の認知度が低いので、琵琶湖の活用も含めて、魅力の発信の強化に取り組む必要があるのではないのでしょうか。
		外国人観光客市内宿泊者数(人) 【観光企画課】	27,622	50,000	×	(内部) 外国人観光客の宿泊者数は、大都市圏での宿泊費の高騰などにより、近隣地方への宿泊と移行してきた結果、増加傾向にありましたが、都市圏で宿泊施設の供給が追いついてきたこともあり、地方は減少に転じています。この傾向は県下同様であることから、広域での外国人観光客の誘客が必要です。	(内部) 広域の連携組織である「公益社団法人びわこビジターズビューロー、びわ湖・近江路観光圏」などでの更なる誘客促進を図るとともに、外国人観光客に彦根を主要な観光地として訪問いただけるよう受入環境の整備や多様な媒体による魅力の発信に取り組んでいきます。
							(外部)
		歴史的風致維持向上施設の整備件数(件) 【都市計画課】	22	17	○	(内部) ハード、ソフトを含めて、継続的に取り組んでいく必要があります。	(内部) 彦根市歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、歴史的風致を後世に伝えるために、市民団体とともに町屋の活用などに取り組んでいきます。
						(外部)	(外部) ・町屋等の活用も含めた、民泊の推進について、検討してはどうでしょうか。
		本市スポーツイベントへの参加人数(人) 【保健体育課】	34,997	27,480	○	(内部) (仮称)彦根総合運動公園、新市民体育センター等の整備期間中、新会場で円滑にスポーツイベントを開催していくことが必要です。	(内部) 新会場でのスポーツイベントの開催に向け、課題の抽出および検討を行い、綿密な準備を進めていきます。
						(外部)	(外部) ・京阪神から金沢へ向かう途中という立地を活かして、彦根で降りてもらえるような動機になるような体験・アクティビティ等の取組を検討してはどうでしょうか。

彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業の実施状況(平成29年度)

施策体系				予算			決算			今後の方針	所管課	
基本目標	大施策	小施策	取組	取組名	予算コード(款～中事業)	中事業名	事業概要	予算額	決算額			実施結果
1	2	—	4	チャレンジショップ事業(空き店舗活用事業)の拡充等による起業しやすい環境の整備	0701024701	まち・ひと・しごと空き店舗活用地域経済活性化事業	商工会議所の行うチャレンジショップ事業に補助を行う。	4,700千円	3,530,018円	前年度継続4件分のほか、家賃補助として新規2件、内店舗改装経費2件の補助を行いました。	中心市街地の空き店舗対策、起業支援としての当該事業を、関係者と効果的な実施方法について検討しながら、継続して推進します。	地域経済振興課
1	3	—	1	<共通>中小企業が行う国等への申請事務手続の支援	0701022501	地場産業等振興対策事業	国等による各種支援施策を必要とするものづくり企業に対し、的確に情報提供し、申請書類の作成・提出から実績報告書の作成・提出までを一貫して支援する窓口を商工会議所に設置する。	3,239千円	3,238,142円	○国、県、関係機関等の補助、支援策の情報発信(8件) ○国、県、関係機関との連携として説明会等への出席(8回) ○3地場産業組合との定期的な情報交換として情報共有および訪問(16回) ○モノづくり企業支援として巡回相談(122件)、窓口相談(65件) ○国、県、関係機関等への補助金申請支援…申請支援(54件)、採択(24件)	ジェトロが本市に連絡事務所を設置したことなどもあり、事業効果を見極めながら事業の継続について判断していきます。	地域経済振興課
1	3	—	4	<仏壇>仏壇職人の後継者育成支援	0701023701	彦根仏壇活性化事業	深刻化する職人の後継者不足に対応するため、新たに雇用する職人に係る人件費の補助を行う。	6,000千円	4,730,000円	新規就業された対象となる職人5人への賃金に対して補助を行いました。	職人の育成状況や不足職種を見ながら継続していきます。	地域経済振興課
1	3	—	6	<仏壇>仏壇の技術を生かした新商品の開発	0701023701	彦根仏壇活性化事業	海外市場調査や意匠開発等の彦根仏壇事業協同組合が行う事業に対して補助を行う。	1,200千円	1,200,000円	意匠開発や各種調査、展示会への出展等、仏壇事業協同組合が行う、産業振興事業に対して補助を行いました。	伝統的工芸品であり地場産業である彦根仏壇の振興に係る諸事業に対して継続的な支援を行います。	地域経済振興課
1	3	—	8	<バルブ>産官学の共同開発により特許を取得しているピフライトの国内外への販路拡大	0701022501	地場産業等振興対策事業	滋賀バルブ協同組合が実施する地場産業新戦略支援事業を支援する。平成28年度においては、ピフライトの普及促進等のため、アメリカの展示会等に参加する事業に対して支援する。	500千円	500,000円	滋賀県中小企業団体中央会の補助金を受けて行う、地場産業のブランド力を高め、地域の資源を生かした新しい付加価値を生み出し、産業の振興に資する事業に対して補助するもので、平成29年度は各種展示会、びわ湖環境ビジネスメッセへの出展のほか、海外販路拡大のため、国内外向けPR媒体の作成、ベトナム市場調査視察等に対して補助を行いました。	滋賀県、滋賀県中小企業団体中央会と連携して継続的な支援を行います。	地域経済振興課
1	4	—	1	地元農産物を使用した地域特産品の開発を支援する取組	0601036001	まち・ひと・しごと農林水産特産物開発促進事業	地元農産物の認知度を向上させるため、実行委員会方式により、地元食材を利用した土産物等の開発を公募し、開発した新商品の周知イベントを行う。	1,500千円	1,390,672円	市特産品「彦根梨」の食べ歩きスタンプラリーイベント「ひこね梨さんぽ」を8月20日(土)から9月10日(日)までの22日間にわたり実施し、以下の結果となりました。 ○参加事業者…40事業者 ○開発された新商品…土産物(7品)、飲食メニュー(63品) ○取り上げられたメディア…テレビ(2社)、新聞(9社)、ラジオ(2社)、各種広報紙(4)など ○新たに活用された彦根梨(加工用)の消費量…約1.6トン(1,647kg)	イベントがおおむね好評であったため、次年度を限度としつつ、さらに工夫を加えながら事業を継続実施し、市の特産品の知名度向上を図ります。	農林水産課
1	4	—	2	ブランド化を見据え、特産品となり得る園芸作物の品目・品種の栽培技術や市場動向に関する研究事業の実施	0601035501	まち・ひと・しごと地域振興作物研究開発事業	園芸作物の特産品を創出するため、プロポーザル方式により、実証実験等を行う品目等を公募し、提案者へ研究開発事業を委託する。	1,107千円	613,727円	特産品創出のための研究開発事業は、以下の結果となりました。 ○平成27年度採択および継続事業(委託)…「ホワイトアスパラガスの遮光栽培」による量産試験等による栽培技術を確立(彦根ホワイトアスパラ復活プロジェクト)しました。 ○平成28年度採択および継続事業(委託)…「コールラビ(キャベツの一種)」の量産試験等による栽培技術を確立しました。	まずは「ホワイトアスパラガス」が「彦根梨」に続く特産品となるよう、これまでの研究開発事業で蓄積した栽培技術などのノウハウを活かして、今後の産地づくりを推進します。	農林水産課
1	5	—	1	福祉・介護・医療職場等における人材の確保・定着への支援	03602010221	保育所職員人材確保事業	保育士資格を持ちながら、保育現場に就労していない人や、これから保育士を目指す人に対し、説明会や保育現場の体験会等を行い、将来の就労に繋げる。また、民間の保育所等に保育士の処遇向上のための補助を行う。	9,166千円	7,836,766円	保育士の人材を確保するため保育士フェアを開催し、保育の職場紹介等を実施しました。また、保育士の処遇向上のための補助を実施しました。	今後も継続して保育士の人材を確保するために魅力ある保育の職場紹介等を実施していきます。また、保育士の処遇向上のための補助を実施します。	幼児課
1	5	—	1	福祉・介護・医療職場等における人材の確保・定着への支援	0301081901	障害福祉職場人材確保・定着事業	湖東福祉圏域1市4町の障害福祉職場における良質な人材確保を図るため、障害者生活支援センターが実施する介護職員初任者研修にかかる受講料等の助成や、同じく1市4町の障害福祉事業所等に一定の期間以上就労し、その後も同事業所に引き続き就労の見込める者に就労継続支援金を支給する。	585千円	240,000円	○就労継続支援補助金交付者(4人) 彦根市または愛犬4町に所在する障害福祉事業所等に6箇月以上、常勤の直接支援員、介護職員として就労し、その後も当該事業所等において引き続き就労が見込める者へ、一人当たり60,000円の補助金を支給しました。	障害福祉事業所職員は、その業務の特殊性から有資格者(専門職)の採用が望ましいと考えますが、絶えず専門性、柔軟性、精神的危機回避の管理能力を求められるため、人材の確保や就労定着がどの事業所も課題です。こうした状況を改善する支援として、補助金制度を今後も実施していきます。	障害福祉課
1	5	—	2	福祉・介護・医療職場等における人材の確保・定着への支援	0301071201	地域福祉人材確保・育成事業	地域に必要な福祉人材を確保・育成するため、合同説明会の開催や、就職者の定着率を高めるための研修を実施する。また、市内の介護施設等で活躍する介護サービス従事者の確保・定着および資質の向上を図るため、国家資格である「介護福祉士」の資格取得に向けた介護福祉士実務者研修受講料の一部を補助する。	1,425千円	772,000円	福祉の職場説明会を6月と11月の2回、定着促進支援研修会を11月に開催しました。介護福祉士育成応援補助金交付者(4人)	職場説明会を通じて一定のマッチングがありますが、福祉職場における人材確保と就労定着は大きな課題であり、事業の継続実施により、引き続き課題解消に向けた支援を行います。	介護福祉課
1	5	—	2	福祉・介護・医療職場等における人材の確保・定着への支援	—	医師・看護師等確保対策	院内保育所運営事業および院内学童保育事業の委託実施により、安心して職務に専念できる職場環境を整備し、医師、看護師等の確保、定着を図る。	46,874千円	36,536,304円	外部委託により、院内保育所を365日開園するとともに、院内学童保育事業を小学校の長期休暇中(春休み、夏休み、冬休み)に計42日間実施しました。	引き続き、院内保育所の運営と小学校の長期休暇中の院内学童保育事業を外部委託により着実に実施することで、職員の就労と子育ての両立を支援し、医師、看護師等の確保、定着を図ります。	市立病院職員課
1	5	—	4	福祉・介護・医療職場等における人材の確保・定着への支援	—	医師・看護師等確保対策	病院における助産師の確保を図り、医療体制の安定に資することを目的に、助産師就業支援給付金を給付する。【基本目標2にも掲載】	3,600千円	0円	随時募集を行ってきましたが、助産師の確保には至りませんでした。	分娩取扱件数の推移も見ながら、適正人数の助産師確保に努めます。	市立病院職員課
1	6	1	1	「彦根市観光振興計画」に基づく官民が一体となって実践する戦略的な観光施策の推進	0701040325	まち・ひと・しごと観光振興計画推進事業	計画推進の基礎データとなる、観光消費による経済波及効果等の測定	1,500千円	1,500,000円	平成28年度に引き続き実施した「彦根市観光に関する経済効果測定調査」の報告書を作成し、関係機関等へ配布しました。報告書においては、計画推進の基礎データの測定を行うとともに、現状の分析、課題抽出等を行い、今後の計画の推進の基礎とします。	基礎データについては、経年変化を見るものであり、今後も毎年度測定を行います。また、分析や課題抽出についても、計画の推進における参考とし、具体的事業を展開していきます。	観光企画課
1	6	1	2	市民全体で観光振興に取り組む意識の醸成や多様な主体による参画の促進	0701040325	まち・ひと・しごと観光振興計画推進事業	観光振興が地域の活性化に及ぼす効果などについて市民や観光事業者を対象とした講演会等の開催	74千円	0円	未実施	平成29年度は実施できませんでしたが、今年度は昨年度に作成した「彦根市観光に関する経済効果測定調査報告書」等を用いて事業者向けの研修会等を開催し、本市の観光に関する現状や課題についての周知を行います。	観光企画課
1	6	1	3	地域の多様な関係者を巻き込みつつ、各種データ分析結果を活用した観光資源の総合プロデュースを実行する日本版DMO(Destination Management/Marketing Organization)の確立	0701040101	国際観光振興事業	DMO候補法人「近江ツーリズムボード」に対する補助および同所で国際観光事業に従事する「地域おこし協力隊」に係る経費	8,000千円	7,276,519円	○近江ツーリズムボード 「彦根市観光客満足度調査」の実施やモバイル空間データを利用した外国人滞在客のデータ分析および外国人観光客向け周遊ルート案の作成など観光資源調査・分析や周遊ルート開発等を行いました。 ○地域おこし協力隊 近江ツーリズムボードに委託し、地域おこし協力隊の活動を支援しました。	「近江ツーリズムボード」は、地域連携DMO候補法人として、彦根市のみならず愛知犬上4町および米原市のエリアを範囲に活動されています。当初は地域連携DMO候補法人としてスタートされましたが、平成29年11月28日付けで日本版DMOとして登録を受けられたところです。今後もDMOとしての活動が確立していけるよう構成自治体等の関係者を巻き込みながら、地域おこし協力隊員や団体への支援を行います。	観光企画課

施策体系				予算			決算			今後の方針	所管課	
基本目標	大施策	小施策	取組	取組名	予算コード (款～中事業)	中事業名	事業概要	予算額	決算額			実施結果
1	6	1	4	「食」のコンテンツの開発・充実や「食」を紹介する情報媒体の創出	0701040101	近江「美食都市」推進プロジェクト事業(交付金)	今後、交流人口の増加策を継続的・迅速に展開するために、「食べる」と「買う」ことの魅力を強化・充実策として、(一社)近江ツーリズムボードが行う各種事業に対して支援する。	15,316千円	14,942,769円	1 地域産品の調査・発掘・評価 2 地域の料理人のための美食料理セミナーの開催 3 DMOによる広報プロモーション 4 地域産品を使用するフードカーの活用および新たなビジネスモデルの構築 5 地域産物の料理グランプリの開催 6 地域産品による食企画での集客の各事業を実施されました。	平成30年度については、補助事業者において、以下の6つの事業を実施される予定です。 1 地域産品の調査・発掘・評価 ・昨年度作成した「近江食材マップ&カレンダー」をベースに、料理人の意見を中心に改訂版を制作し、観光ツールとしても活用していきます。 2 地域の料理人のための美食料理セミナーの開催 ・「近江美食研究会」の立ち上げにより、地域料理人のコミュニティを創出し、地域料理人による意見交換や交流促進を図ります。また、生産地視察等で生産者との連携も深める「勉強会」を開催予定です。 3 DMOによる広報プロモーション 4 地域産品を使用するフードカーの活用および新たなビジネスモデルの構築 ・歴史的観光資源周辺でプライベートレストランのような個人観光客をターゲットにした旅行商品を企画していきます。 5 地域産物の料理グランプリの開催 6 地域産品による食企画での集客 ・「ひこね梅と食と光のフェア」(仮称)を開催予定です。 ・「著名シェフがセレクトした近江ビープ新作フェア」(仮称)を開催予定です。	地域経済振興課
1	6	1	7	滞在型観光・夜型観光へのシフト	0701040206	彦根城観月の宴開催事業	観光客の閑散期に効果的な誘客と滞在時間の延伸、宿泊客の増加を図るために実施される「玄宮園で虫の音を聞く会」および「彦根城夜楽」に対し、補助を行う。	3,007千円	3,006,152円	○観月のタベ(彦根観光協会) ・日時 平成29年9月30日(土)～10月22日(日)の土日祝9日間 18:30～21:00 ・会場 玄宮園 ・内容 鳳翔台でのお茶席や、呈茶席、雅楽・琴演奏等 ○彦根城夜楽(彦根観光協会) ・日時 平成29年10月7日(土) 18:30～21:30 ・会場 彦根城一帯 ・内容 夜間の時間帯での彦根城登城	関係事業者と情報共有・連携・協力しながら夜型イベントの充実により宿泊者増を目指します。	観光企画課
1	6	1	7	滞在型観光・夜型観光へのシフト	0701040211	光の祝祭開催事業	彦根城およびその周辺をライトアップし、彦根の文化・歴史をアピールすることを目的に実施される彦根城ライトアップ事業に対し、補助を行う。	8,500千円	8,500,000円	○彦根商工会議所 ・日時 平成29年9月29日(金)～12月10日(日) 日没～21:00 計73日間 ・会場 彦根城一帯 ・内容 平成28年度は彦根・多賀連携組織委員会にて広域で「神あかり・城あかり」と題して実施しました。平成29年度は、国宝・彦根城築城410年祭開会中であり「ONE & ONLY」をテーマに「城あかり」として彦根城域のライトアップを行いました。	関係事業者と情報共有・連携・協力しながら夜型イベントの充実により宿泊者増をめざします。	観光企画課
1	6	1	9	国宝・彦根城築城〇〇周年や大河ドラマ等を契機としたイベントの開催による観光客の誘致	0201082201	国宝・彦根城築城410年記念事業	築城410年を迎えるが彦根城にまつわる歴史的財産の再発見をするなどして、観光客の誘致を図り、観光消費額の拡大を図る。また、平成29年1月から放映されるNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」を契機とした観点からも取組を進める。	169,002千円	159,036,442円	平成29年3月18日から12月10日まで彦根城を中心に市内全域で記念事業を実施した結果、平成29年度の彦根城入山者数は83万5,958人でした。近年では築城400年祭が開催された平成19年度に次いで2番目に多い結果となりましたが、目標としていた90万人は達成することができませんでした。 しかしながら、「彦根市観光に関する経済効果測定調査報告書」によると、平成29年の観光消費による経済波及効果は前年比15.6%増の362億円に達するなど、本事業実施による地域経済へのインパクトは大きかったと考えられ、築城410年祭の開催目的の一つである「観光振興による継続的な地域経済の活性化を図ること」については一定の効果があったものと考えられます。	今後については、昨年「ポスト410年祭検討委員会」から提出された提言書「国宝・彦根城築城410年祭後の取組について」に基づき、関係部署において取組を進めます。 なお、国宝・彦根城築城〇〇周年や大河ドラマ等を契機としたイベントについては、その目的と効果を改めて明確にしたうえで、事業の実施体制、手法などについて随時検討します。	シティプロモーション推進課
1	6	1	10	「びわ湖・近江路観光圏活性化協議会」や「びわこ湖東路観光協議会」、「国宝城郭都市観光協議会」、「近江インバウンド推進協議会」など各団体との連携・協力による広域観光の促進。	0701040301	広域観光振興事業	各協議会等への負担金および会議等への出張旅費	7,375千円	7,274,782円	○びわ湖・近江路観光圏活性化協議会 ・インバウンド事業…台湾向け特設観光サイトの開設、パワーブロガーによる情報発信等 ・石田三成連携事業…三成会議の開催、スタンプラリーの実施、三成タクシーの運行、三成めし認定等 ○びわこ湖東路観光協議会 ・着地型観光推進事業…びわこ湖東路ゴーストツアーの実施 ・ぐるっと湖東路周遊促進事業…観光情報誌「旅する湖東」の作成、サイクルマップの作成、めぐ輪子さんと春の湖東路キャンペーンの実施 ほか ○びわこビジターズビューロー ・「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」の開催 ほか ○近江ツーリズムボード…前述のとおり ○国宝城郭都市観光協議会 ・JNTOのウェブマガジンへの広告掲載、パンフレット増刷等	インバウンドを始めとした誘客宣伝など彦根市単独よりも広域での取組の方が効果が高いと思われるものは、各団体と連携・協力し広域観光を促進していきます。	観光企画課
1	6	1	11	日本遺産や広域観光周遊ルート等、地域資源を活用した明確なテーマやストーリーに基づく広域連携の推進と観光周遊ルートのブランド化	0701040301	広域観光振興事業	各協議会等への負担金および会議等への出張旅費【同上】	7,375千円	7,274,782円	【同上】	【同上】	観光企画課
1	6	2	1	ターゲットを意識した戦略的な情報発信や海外プロモーションの実施	0701040101	国際観光振興事業	多言語観光パンフレットの増刷、JNTOを通じた情報発信	1,278千円	564,600円	○城下町・ひこねマップの増刷 ・日本語(30,000部)、英語(20,000部)、繁体字(15,000部)、ハングル(5,000部)の計70,000部を作成しました。	パンフレットの多言語化により、外国人観光客の受入整備を進めていますが、平成30年度に作成する観光情報誌につきましては、日本語と英語を併記し国内はもちろん多くの外国人にも対応できるよう誌面を一新します。	観光企画課

施策体系				予算				決算				今後の方針	所管課
基本目標	大施策	小施策	取組	取組名	予算コード (款～中事業)	中事業名	事業概要	予算額	決算額	実施結果			
1	6	2	1	ターゲットを意識した戦略的な情報発信や海外プロモーションの実施	0701040314	誘客・宣伝事業	国際商談・展示会（ツーリズムEXPOジャパン、お城EXPO）への参加	3,711千円	828,600円	○ツーリズムEXPOジャパン2017 ・日時 平成29年9月22日（金）～24日（日） ・会場 東京ビッグサイト ・内容 パンフレット、チラシ配布、ポスター・パネルの掲示、ご当地キャラによるPRステージでの誘客促進 ○お城EXPO2017 ・日時 平成29年12月22日（金）～24日（日） ・会場 パシフィコ横浜 ・内容 パンフレット、チラシ配布、ポスター・パネルの掲示、ご当地キャラによるPRステージでの誘客促進	彦根市観光振興計画では欧米と台湾の個人・団体客を暫定ターゲットと設定していますので、ターゲットを絞ったマーケティングを行い、戦略的な海外向けプロモーション活動を行ってまいります。	観光企画課	
1	6	2	2	案内板やホームページ等の多言語化、Wi-Fi環境の整備、クレジットカード取扱店や免税店の増加促進、外国語対応ボランティアガイドの充実など、外国人観光客のニーズを捉えた受入れ体制の整備	0701040101	国際観光振興事業	Wi-Fi拠点整備（既存10ヶ所の運用および新規3ヶ所設置）	959千円	825,651円	平成29年度は、国宝・彦根城築城410年祭開催期間中、特設案内所として使用した二の丸内にWi-Fiを1か所整備し、平成26年度以降の整備箇所数は延べ12か所となりました。	「彦根市観光振興計画」で外国人観光客のニーズを捉えた環境整備のひとつとして位置づけているWi-Fi整備につきましては、彦根城周辺の公共施設等においては一定整備できたと考えられ、平成29年度限りでWi-Fi設置を一旦終了しました。 飲食店や土産物店などの民間施設の整備は、今後関係団体と連携しながら統一規格である「BIWAKO Free Wi-Fi」を利用してもらおう周知に努めます。	観光企画課	
1	6	2	3	「近江インバウンド推進協議会」との連携・協力による外国人旅行者の誘客促進	0701040101	国際観光振興事業	DMO候補法人「近江ツーリズムボード」に対する補助および同所で国際観光事業に従事する「地域おこし協力隊」に係る経費【施策体系1613と同じ】	8,000千円	7,276,519円	【施策体系1613と同じ】	【施策体系1613と同じ】	観光企画課	
1	6	3	1	彦根城とその関連資産の世界遺産登録の推進にかかる価値の証明・発信ならびに保存管理体制の整備	1005022501	彦根城世界遺産登録準備事業	彦根城の世界遺産登録を実現するために必要な事業を行う。	11,003千円	8,687,630円	文化庁の指示に基づき、国内外の専門家の助言・指導を受けながら、世界遺産登録に必要な推薦書原案の作成に取り組むとともに、世界遺産登録の機運を高めるため、学術講演会を2回開催したほか、ホームページや啓発冊子などを通じて情報発信を行いました。	平成30年度末に推薦書原案をまとめて文化庁に提出し、平成33年度までに国からユネスコの世界遺産委員会に推薦をしていただき、平成36年度までに世界遺産登録を実現したいと考えています。	彦根城世界遺産登録推進課	
1	6	4	2	滋賀県が実施する（仮称）彦根総合運動公園の整備と連携した本市のスポーツ施設および公園施設等の計画的な整備	0804053901	金亀公園整備事業	国体開催に向け、主会場に隣接する公園の再整備について、基本設計を行う。また、主会場と結ぶ連絡橋について、概略設計に係る彦根市負担分の費用を計上する。	35,093千円	2,023,809円	再整備においては、滋賀県が実施する彦根総合運動場の国体主会場と本市の管理する公園区域とを結ぶ連絡橋を整備する計画ですが、当該連絡橋の位置や構造等の協議に不測の日数を要し、年度内の完了が困難であることから、平成30年度に予算を繰越し、事業を実施しています。また、連絡橋の概略設計は、滋賀県が発注し、市の管理区間延長に応じて負担金を支出する予定でしたが、県が発注を平成30年度に改めることとしたため、この経費を減額補正しました。	今後は、基本設計を完了させ、速やかに実施設計を行うとともに、遊具の移設等基本計画のスケジュールに基づき再整備工事に着手してまいります。 また、滋賀県とともに整備する連絡橋についても、概略設計に着手する予定です。	都市計画課	
1	6	4	2	滋賀県が実施する（仮称）彦根総合運動公園の整備と連携した本市のスポーツ施設および公園施設等の計画的な整備	1006050301	市民体育センター整備事業	新市民体育センター整備にあたり、埋蔵文化財の発掘調査や設計業務等を行う。	158,959千円	132,846,980円	新市民体育センターの整備に向けて、敷地の造成設計業務、測量業務を行ったほか、建築に係る設計業務、埋蔵文化財発掘調査業務を実施しました。	平成34年度からの供用開始に向けて、遅滞なく施設整備を進めていき	新市民体育センター整備推進室	
1	6	4	3	（仮称）彦根市スポーツ推進計画の策定	1006020129	生涯スポーツ管理運営事業	スポーツ推進計画を推進する。	40千円	33,780円	スポーツ推進計画に基づいたスポーツ推進の実効性を高めていくために、現場レベルの情報を含めた連絡調整や具体的な取組に向けた検討を行うため、「スポーツのまちづくりを進める会」を設置し、17名のメンバーで4回会議を開催しました。	今後ともスポーツ推進計画に基づき、市民・地域・スポーツ団体と連携協働しながら各施策の推進に努めます。	保健体育課	
1	6	4	4	競技スポーツの推進および競技力の向上	1006020130	社会体育関係団体活動支援事業	生涯スポーツ推進の中心的役割を果たしている彦根市体育協会等に対して各事業への支援を行い、競技力の向上に努める。	10,123千円	10,244,759円	生涯スポーツ推進の中心的役割を果たしている彦根市体育協会等に対して各事業への支援を行いました。また、ジュニア期の競技スポーツ選手育成強化事業を彦根市体育協会に委託し、競技力の向上に努めました。	市民の主体的なスポーツ活動を支援するため、引き続き彦根市スポーツ協会等各種スポーツ団体に対して支援を行ってまいります。	保健体育課	